

# 笑ってごらん

第 578 号 H. 29. 4. 11 発行

～今日のことば～

相手が今何を求めているか、何を苦しんでいるかを想像することが思いやりです。

(瀬戸内寂聴)



◇◆こんにちは。高校1年生ならびに専門課程1年生の皆さん、入学おめでとう。これから本校で様々なことに積極的に取り組み、数多くの学びを得て欲しい。有意義な学校生活になるよう期待している。さて、高校1年生の皆さんにはまだ入学したてで全てのことが何のことだか分からぬ状態の連続だらうと思う。日々たくさんのオリエンテーションが行われるため、一気にたくさんの情報がもたらされる。それら全てを短期間で理解し、できるようになるのはとても大変。それゆえ、大切なことについては『～の手引き』などの形で資料化して配布されることになる。必要が生じたときに「あれっ、これはどうするんだったっけ？」と資料を開いて確認すれば良い。ただし、今後も『手引き』は増えていくはずなので、まとめて1冊にファイルしておくことをオススメする。分からぬことがあったら、先生や先輩に聞くこと。分からぬことを聞くのが恥ずかしいからといって分かったフリしていることが問題。

ひょっとすると、間違った理解のまま覚えてしまっているかも知れないよ。十分気をつけて！ ◇◆これからほぼ毎週発行するこの『笑ってごらん』、学校内外の事象で私が独断と偏見で気になったことをつらつらと書き綴っていく雑記である。常々「笑顔が一番！」と思ってるので、このタイトルにした（残念ながら毎回笑える記事を書いている訳でもない）。知っている1年生も多いかも知れないが、本校にはブログもあり平日は毎日更新されている。そのブログに『笑ってごらん』もアップされるので、是非見て欲しい。これからしばらくは1年生主体の行事が続くので、当然ブログの内容も1年生がメインとなることだらう。 ◇◆入寮日、そして入学式と残念ながら雨天であった。両日とも濡れながらの作業・移動は大変だつたことだらう。風邪などひかなかつただらうか。時に、当地鹿児島には『島津雨』という表現がある。出立やお祝い事・神事の日に降る雨は縁起が良いとされる。島津藩初代当主島津忠久の誕生時に雨が降っていたことに由来している。よって、雨が降っていると、何かめでたいことが起こる前兆と言われる。特に、県外からのお客様を迎える際にはよく使われている。まさに、県外からたくさんの中学生を迎える時であったので、この雨は島津雨に違いない。 ◆何かを行おうとする時に雨が降ると憂鬱なもの。しかし、「島津雨じやが！」の一言で気分も変わる。気の持ちようで大きく変わるという教えでもあらう。覚えておくといいよ。



◇◆入学式を前にとても嬉しいニュースが寄せられた。入寮作業の際、「上級生がお互い声を掛け合い、スピーディーにテキパキと荷物を運んでくれた。鳳凰高校の教育のすばらしさを感じた」と、1年生の保護者からお褒めの言葉をいただいた。加えて、

新しい制服を含めてたくさんの荷物を持ち帰らなければならない1年生の様子を見て、傘を差しかけてあげたり、荷物を持つのを手伝ってあげたりした心優しき先輩がいたことも耳にした。上級生としては、自分自身が入学・入寮した時に先輩たちの笑顔や動きに感動したので、その恩を下級生に返してあげているに過ぎないのだろう。しかし、このことは本校の良い伝統になっていると思う。上級生の1年生に対する温かな心遣いに感謝する。本当にありがとう。自分がしてもらって嬉しかったことを自分も他の人に対して積極的に行う。これこそが『思いやり』。今後、1年生は少しずつできることを増やしていき、「先輩、お陰様でこれができるようになりました！」と是非報告して欲しい。先輩としても嬉しいと思うよ。

感謝道